

京都自立就労サポートセンター（京都府）

様々なプログラムでステップアップしながら
就労をめざす



地元企業での就労体験

1. 基本情報

①自治体・団体名	一般社団法人 京都自立就労サポートセンター
②住所等	【本部】 〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町 70 京都テルサ西館 3 階 TEL : 075-693-7727 FAX : 075-682-8939 【北部サテライト】 〒620-0045 福知山市駅前町 400 番地 市民交流プラザふくちやま 4 階 北京都ジョブパーク内 TEL : 0773-22-3840 FAX : 0773-22-3365 http://www.kyoto-ps.com/
③圏域の人口、高齢化率	人口（京都府）：2,589,961 人
④生活困窮者自立支援法に基づく事業の実施状況	就労準備支援事業（スキルアップ訓練）：府内全域
⑤主な事業・活動（④以外）	・若者就職支援等推進事業 ・日常生活等自立支援事業：中丹・丹後地域 ・就労体験事業 ・若者就職・定着応援事業

2. 取り組みの経緯・背景

- 京都府パーソナル・サポートセンター設立 [平成 22 年]
- 内閣府 パーソナル・サポートサービスモデル事業 第 1 モデル [平成 22 年-平成 25 年]
- 京都自立就労サポートセンターに名称変更 [平成 24 年]
- 京都自立就労サポートセンター「北部サテライト」開設 [平成 24 年]
- 厚生労働省 生活困窮者自立促進支援モデル事業 [平成 25 年-平成 27 年]
- 就労体験事業（コミュニティカフェ Mali Mali 運営）[平成 25 年-平成 27 年]
- 法人を格取得し、一般社団法人京都自立就労サポートセンターに名称変更 [平成 27 年～]
- 無料職業紹介事業許可取得 [平成 27 年]
- 若者就職支援等推進事業 [平成 27 年～]
- 生活困窮者等就労準備支援事業（スキルアップ訓練）：府内全域 [平成 27 年～]

- 日常生活等自立支援事業：中丹・丹後地域 [平成 28 年]
- 就労体験事業（京丹後市に里山農園「楽」開園）：府内全域 [平成 29 年～]
- 若者就職・定着応援事業 [平成 30 年～]

3. 取り組み概要・実施体制

- ①就労体験（基礎型）：1 カ月
 - ・就労に向けた様々なメニューと農作業、軽作業、サービス業等の就労体験を組み合わせたプログラムへの参加を通じて、生活リズムを整え、他者との交流を深めながら就職に向けた次のステップに進む。
- ②就労体験（実践型）：～1 カ月
 - ・就労に向けて段階的な支援を必要とする人に、職場での軽作業やそこで働く人との交流を通じて、働くための適応能力を高め、次のステップに進む。
- ③就労体験（合宿型）：10 日間
 - ・普段の生活の場を離れ、他者との共同生活・共同作業をすることで様々な場面で相手の事を思いやる事の大切さ等を実感し、社会生活に必要なことを学ぶ。
- ④就労体験（担い手育成型）：2 ヶ月
 - ・未就労や長期離職の若年者を対象に、社会人基礎力の習得から各業界において求められる知識やスキルの習得まで総合的な研修を実施したうえで企業での実地訓練（OJT）を行い、業界理解を深め、正社員での就職をめざす。
- ⑤無料職業紹介を活用したステップアップ就労（雇用型中間的就労）
 - ・無料職業紹介事業の許可を取得しており、相談者それぞれの個性や適性を考えながら相談者と事業所のマッチングを行っている。就労後も相談者、事業所それぞれに対してセンターがフォローアップすることで定着の効果を上げている。
- ⑥定着支援交流会
 - ・就職後、仕事と生活が軌道に乗るまで6ヶ月間のフォローアップを行う。
- ⑦PS友の会
 - ・働いている人が気軽に立ち寄れる場。励ましあえる仲間作りにつながっている。
- ⑧きょうと生活・就労おうえん団
 - ・様々な理由から就労にうまくつながっていない人たちを支援するため、一般企業や社会福祉法人、NPO法人などが参画して設立。
 - ・職場見学や体験の場の提供、ステップアップ就労の場の提供、地域支援ネットワークづくりへの協力などの活動を行う。登録事業所数は452か所（平成31年2月現在）。

4. 成果や課題、今後の展開

- ・関係機関との幅広いネットワークを生かし、一人ひとりの状況に合わせて段階的・継続的に、寄り添いながら相談から就職、定着までの総合的な就労支援を行うことで、平成29年度は年間120人が就職内定を得ることができた。また、定着率については、80%の人が6ヶ月以上就労継続している。